

農地・水保全管理支払交付金
新町地区ふるさと通信

(2013・3・31)

発行元
新町地区
ふるさと保全会
会長 村上貞二

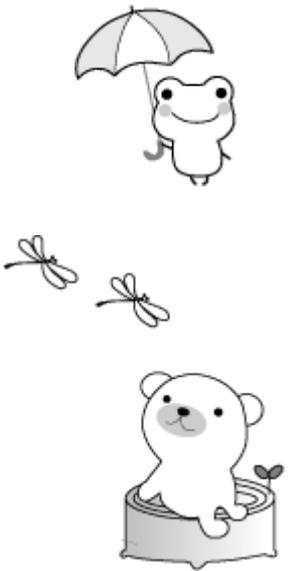
◎主な活動

保全会の主な活動は、これまで同様
行政・区民が中心に取組む基礎活動で
して、農道・水路等の除草作業を行い、
機能の維持を図る活動と、農業施設の機能点検や補修作
業を実施し、農地・農道・水路の保全に努めて参りま
す。

この「行政区内の環境美化活動」については、区民一
体となった取組を展開し、地域の資源である「た
る羊登」や「水神社」等を大切に守る活動を行い、ふ
るさとの活性化・環境美化に関する活動、区民の意識を
高める活動を行って参りますので、皆様の協力をお願い
致します。

主な活動は次の通りです。

- ◇通商総会・運営委員会・監査会
- ◇農道・開水路等の点検
- ◇農道・開水路等の草刈り・補修・保全作業
- ◇開水路の自然災害時の点検・補修作業
- ◇農道等の清掃・花植え作業
- ◇がんがら川での生き物調査
- ◇農村環境保全の学習活動
- ◇「農地・水保全管理支払交付金」活動の啓発
- ◇広報紙「ふるさと通信」の発行



平成二十四年度の活動報告

◎新たな対策がスタート

平成十九年度から取り組んできた農地・水・環境
保全向上対策が昨年で終了し、名称が「農地・水保
全管理支払交付金」と変わり、引き続き平成十八年
度までの五年間の事業としてスタート致しました。

このことは、農地や農業用水などの資源は、農業
のためだけでなく、農村の豊かな自然環境や景観を形
づくる上でも大きな役割を果たしていることが実証
され、これらの資源を、農業者だけでなく、集落な
どの地域の活動として、保全・管理に取組むこと
が、農村環境を守る、快適な生活を送るための重要
な活動として位置づけられました。

◎保全会の運営体制

当保全会は、農地や農業用水などの資源の保全と併
せて、農村環境の質的な向上を目指すことから、新町
地区の、主な活動組織の代表者(新町区・農家組合・
若者会・消防団等)による運営委員会を設置し、様々
な意見交換・意見集約を行い、素早い意思決定のも
と、適正に活動してまいります。また、全構成員か
らの意見についてもそれぞれの代表者(運営委員)
により、総会に提案され、決定事項については、そ
れぞれの会議等で報告致します。また、「ふるさと
通信」等で活動報告・会計報告等を周知致します。

平成24年度 収支決算書

【収入の部】

科目	金額	備考
助成金	876,000円	交付金
雑収入	42円	貯金利息
合計	876,042円	

【支出の部】

科目	金額	備考
日当	552,600円	作業・会議・研修等
購入費	111,450円	花苗・看板等
委託費	66,150円	土砂上げ業者委託等
その他	145,842円	会議・作業時のお茶等
合計	876,042円	

【主な活動】

- 4月 8日 農道の花植え
- 4月22日 水源地(水神社)の清掃
- 4月27日 運営委員会
- 6月 3日 開水路の草刈り作業(円田2地区)
- 6月24日 施設の点検作業
- 6月25日 台風5号被害の施設復旧工事
- 7月 8日 農道の花植え
- 7月15日 農道の花植え(花壇)
- 7月29日 子供たちによる生き物調査(がんがら川)
- 9月 9日 開水路・農道の草刈り(円田2地区)
- 11月 4日 農道の花植え
- 11月13日 保全会の看板設置作業(公民館前)
- 2月 9日 三団体合同学習会
- 3月 4日 区総会で活動報告
- 3月31日 ふるさと通信第6号発行
- その他・・・研修会、情報交換・中間指導等

新町地区ふるさと保全会 平成24年度事業

写真で見る一年



▲春の花植え作業（若者会）



▲運営委員会の様子



▲台風5号の被害復旧（取水口）



▲水源地（水神社）の清掃作業



▲開水路の草刈り作業（6月）



▲農道・開水路の草刈り（円田2期地区）



▲全区民で農道の花植え作業



▲夏の花植え作業（若者会）



▲子供たちによる生き物調査



▲子供たちによる生き物調査



▲子供たちによる生き物調査



▲農道・開水路の草刈り（9月）



▲秋の花植え（若者会）



▲ふるさと保全会の看板設置



▲三団体合同学習会